

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
スパーキングレディーカップ	2019/7/4	JpnIII	川崎	1600m	ハイペース	不良	展開

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	マドラスチェック	牝3	52	斎藤新	Malibu Moon	ナスルーラ系	Mr. Greeley	ミスプロ系	A	C	B	C	B	B	△2	
2	2	サルサディオオーネ	牝5	55	岩田康	ゴールドアリュール	サンデー系	リンドシェーパー	アリダー系	C	B	B	C	C	C		
3	3	ラーゴブルー	牝5	56	御神本	ハーツクライ	サンデー系	キングカメハメハ	ミスプロ系	B	A	B	B	B	B	△1	
	4	ファッシュヨニスタ	牝5	55	川田	ストリートセンス	ミスプロ系	Coronado's Quest	ミスプロ系	A	A	B	B	A	B	○	
4	5	レガロデルソル	牝4	55	森	キンシャサノキセキ	サンデー系	マリエンバード	ノーザン系	D	A	C	B	C	C		
	6	リボンスティック	牝7	55	赤岡	シニスターミニスター	ナスルーラ系	アグネスタキオン	サンデー系	D	A	D	D	D	D		
5	7	ミッシングリンク	牝5	56	左海	ヴィクトワールピサ	サンデー系	More Than Ready	ヘイロー系	B	B	B	B	B	B	▲	
	8	ラモントルドール	牝5	55	加藤聡	ゴールドアリュール	サンデー系	ブライアンズタイム	ロベルト系	D	C	D	C	D	D		
6	9	ローレライ	牝5	55	本田	ゴールドアリュール	サンデー系	クロフネ	ノーザン系	D	C	C	B	C	C		
	10	フラワーオアシス	牝6	55	和田	メイショウボーラー	ヘイロー系	タイキシャトル	ヘイロー系	D	C	C	C	C	C		
7	11	ゴールドクイーン	牝4	56	古川	シニスターミニスター	ナスルーラ系	フォーティナイター	ミスプロ系	A	C	C	C	B	C	×1	
	12	オルクスリアン	牝6	55	繁田	キングカメハメハ	ミスプロ系	プレミアムサンダー	ミスプロ系	C	B	C	B	C	B	×2	
8	13	アッキー	牝6	55	笹川	ゼンノロブロイ	サンデー系	ブラックタイアフェア	アリダー系	C	B	B	B	B	A	△3	
	14	マルカンセンサー	牝4	55	的場	ローズインメイ	ヘイロー系	Cozzene	ナスルーラ系	B	C	B	B	B	A	◎	

隊列図	見解	ラップタイム
ゴール		
サルサ オルキ	逃げ、先行勢がズラッとそろった今年のスパーキングレディーカップ。特にJRA勢の4頭は、マドラスチェック（前走4コーナー2番手、3走前逃げ切り勝ち）、サルサディオオーネ（前走4コーナー1番手、行き切ってナンボ）、ファッシュヨニスタ（前走4コーナー1番手）、ゴールドクイーン（前走4コーナー1番手、逃げて連勝中）とすべて前々で運びたい馬たち。特にサルサディオオーネとゴールドクイーンは是が非でもハナを叩きたいタイプで、その2頭のペースにファッシュヨニスタ、マドラスチェックがついていけば、必然的にハイペースになるのではないかと割り切り、伏兵の差し馬から入ってみたい。それでは予想にいきましょう。	回顧
ラーゴ ファッ		
マドラ ミッシ		
レガロ アッキ		
ローレ マルカ		
ラモン フラワ		
リボン		
ハイペース	本命は マルカンセンサー の一撃に期待してみたい。今年のTC K女王杯で2着に激走し、3連単99万馬券の立役者になった馬。当時、反則気味な内有利の馬場で内枠からロスなく立ち回ったの好走。フロックだったのは間違いないが、直近2走がひと皮むけたと思わざるを得ないレースぶり。（以下省略）	次走狙い馬

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	マドラスチェック	△2	古馬相手でも能力的に見劣ることはないが、1枠1番から新人の斎藤騎手が別けるかが不安。外に先行策を打つだろうラーゴブルー、ファッシュニスタがいて、楽な競馬はさせてもらえないだろう。		
2	2	サルサディオオーネ		同型でデンが速いゴールドクイーンがいるため、内で揉まれる競馬になりそう。仮に行き切れたとしても、直後に格上のフッシュニスタ、ミッシングリンクらが追走。どのみち厳しい展開を強いられるだろう。		
3	3	ラーゴブルー	△1	前走マリーナカップでダートグレード初勝利を挙げるも、JRA勢が2頭しか出走しておらず（しかも近走不振のアイアンテラーとリエノテソーロ）、とてもダートグレードとは呼べないメンバーだった。今回は前走マリーナカップよりも明らかにハイレベル。ここまで人気を集めるなら少し軽視したい。		
	4	ファッシュニスタ	○	川田騎手とのコンビでは【5.5.0.0】と連対をハズしたことがない馬。前走天保山ステークスではハナを奪ったが、2番ゲートで被されるのを嫌って行き切っただけ。2走前までは好位差して結果を残しており、前にサルサディオオーネ、ゴールドクイーンを見る形でも何ら問題はないだろう。		
4	5	レガロデルソル		デビュー以来、クラス、コース問わず大崩れなく走っているが（デビュー以来すべてのレースで4着以内に入っている）、今回はダートグレードで相手関係が大幅に強化。さすがにこの相手では力不足だろう。		
	6	リボンスティック		B2で全く通用していない7歳牝馬。ここは参加するだけだろう。		
5	7	ミッシングリンク	▲	転入初戦の京成盃グランドマイラーズでは勝ち馬ベンテンコソウを追いかわけての3着。ベンテンコソウは「この先ダートグレードでも…」と期待されている馬なのであの敗戦は仕方ない。マイルは1ハロン短い印象を受けるが、ハイペースの消耗戦になれば、スタミナ型の本馬に出番が巡ってきてもいい。		
	8	ラモントルドール		東海地区のA3でも馬券圏内がギリギリの馬。苦戦必至だろう。		
6	9	ローレライ		前走東京スポーツ賞で鮮やかな差し切り勝ちを決めるも、今回は相手関係が格段に強化。ダートグレードではいくら何でも荷が重い。		
	10	フラワーオアシス		昨年のスパーキングレディーカップは勝ち馬リエノテソーロから3.5秒も離されての11着。当時から特に成長があるわけではなく、今年も苦戦必至だろう。		
7	11	ゴールドクイーン	×1	前走かきつばた記念が強い一言も、今回は未知の1600m。序盤からサルサディオオーネと競い合い、後続勢に早めに動かれてしまうと、直線であっさりと後退するシーンがあるかもしれない。【5.1.1.5】の戦績からもピンカソバーかのイメージ。		
	12	オルクスリアン	×2	使われつつ調子が徐々に上向いており、前走ファンタスティックチャレンジではワンパーセントの2着に好走。ワンパーセントはおそらく南関東重賞でも勝ち負けレベルで、3着馬に5馬身差をつけていたのを見て、相手が悪かったと解釈していいだろう。		
8	13	アッキー	△3	使われつつ差す競馬が板についてきた。3走前のエンプレス杯では5着に健闘しており、このメンバーでも能力的に大きく見劣ることはないだろう。JRA時代は東京ダート1600mで安定したパフォーマンスを見せており、川崎1600mも合いそうだ。人気ほど舐められた馬ではない。		
	14	マルカンセンサー	◎	今年のTCCK女王杯で2着に激走し、3連単99万馬券の立役者になった馬。当時、反則気味な内有利の馬場で内枠からロスなく立ち回ったの好走。フロックだったのは間違いないが、直近2走がひと皮むけたと思わざるを得ないレースぶり。牝馬限定のダートグレードなら通用してもいいだろう。		